

令和5年度第1回安城市スポーツ推進審議会 議事録要旨

日 時	令和5年6月27日（火）午後2時～3時
場 所	東祥アリーナ安城 3階 第4会議室
出席委員	野村富雄委員、四ツ井初美委員、杉山恵子委員、香村直廣委員、 栢山美鈴委員、桑田智委員、香村恵介委員、太田妙子委員、 外山大輔委員、近藤亜衣委員
欠席委員	なし
事務局出席者	教育長（石川）、生涯学習部長（加藤）、スポーツ課長（津口）、 スポーツ課長補佐（岩井、内藤）、スポーツ振興係主査（近藤、小木曾）
次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1 市民憲章唱和 2 委員の委嘱 3 あいさつ 4 正・副会長の選出 5 議題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 第2次スポーツ振興計画改訂版に係る令和4年度事業実績について <ol style="list-style-type: none"> ア 個別事業の実績について イ 目標値の達成状況について (2) 第2次スポーツ振興計画改訂版に係る令和5年度事業計画（案）について

1 市民憲章唱和

2 委員の委嘱

全委員へ委嘱

3 あいさつ

石川教育長

4 正・副会長の選出

会長には野村富雄委員を選出

副会長には四ツ井初美委員を選出

選出後、野村会長あいさつ

5 議題

(1) 第2次スポーツ振興計画改訂版に係る令和4年度事業実績について

【事務局説明】資料P3～44

【質疑応答】

(委員)

資料掲載の事業に参加したことあるが、参加者がいきいきとされており、計画的に事業が進められている。

(委員)

事業にはスポーツに興味がある人しか来ないと思われる。成人のスポーツ実施率を向上させるためには、興味がない人に対して、参加してもらえるような取り組みをしていかないといけない。

(委員)

今年度は部活動改革があり、これは成人のスポーツ実施率を上げることと相反することにもなりえる。また、学校の施設開放は、夜間は社会人が多く利用されていると思われるので、上手く議論できればと思う。

(委員)

先ほどの意見にもあったが、興味がある人しか参加しないということは私たちの分野でも問題になっており、興味がない人に対してのリーチは難しい。ラジオ体操の実績において、延べ人数の記載があるが、実人数を把握することができると、どのくらいまで到達しているか判断することができ、次のアプローチにも繋がる。また、事業が終了した時に、参加者が自主的に続けるような仕組み作りがあると次のステップにも続くと思われる。

(委員)

実人数のデータはあるか。

(事務局)

参加者のみの報告のため、実人数の把握はできていない。

(委員)

次の改善に向けて、年齢別のアンケートを取るといった方法もある。

(委員)

目標値の達成状況についてだが、新型コロナウイルス感染症により、制限をかける等、達成はなかなか難しい状況となっている。5類感染症移行に伴い、以前のような活気のある大会や事業を実施する等、目標達成に向けて取り組んでほしい。

(委員)

市スポーツ施設の利用者数についてどのように目標を設定されたのか。例えば、キャパシティがどれぐらいで、何%ぐらいの稼働といった想定をされたのか。

(事務局)

施設のキャパシティからではなく、年間の利用者数を中心に設定している。

(委員)

市のスポーツ施設は利用がたくさんあるイメージがあり、利用者数を増やしたくてもキ

キャパシティ等により増やせないのではないか。

(事務局)

スポーツ施設の利用者数は、運動ができる公園等の利用者も含まれているため、令和7年度の目標である154万は達成することができる数字になっている。

(委員)

スポーツ施設をどのように定義しているのか。

(事務局)

スポーツ施設は、市体育館・レジャープール・スポーツセンター・公園内の屋外施設・和泉公園・秋葉公園テニスコート等である。統計として毎年、利用者の比較をしてる。

(委員)

どの施設も利用者が多いとあったが、キャパシティとして、平日は余力があるのか、それともどの時間帯も利用者が多いのか。これも延べ人数が計上されているので、可能なら実人数を調査した方がよい。今まで利用したことがない人へのアプローチ等、今後の対策に繋がる。

(事務局)

集計の仕方等、実人数を把握することは難しい。

(委員)

屋内施設は平日でも利用者が多く、屋外施設はまだ余裕があるように感じられる。

【全委員了承】

(2) 第2次スポーツ振興計画改訂版に係る令和5年度事業計画(案)について

【事務局説明】資料P45～48

【質疑応答】

(委員)

3x3バスケットコートの整備が、施設利用者の増加にも繋がる。刈谷市は学校の体育館にエアコンを設置すると聞いているが、安城市は学校の体育館にエアコンを設置する予定はあるか。

(事務局)

検討中である。

(委員)

屋外体育施設管理事業の予算は維持管理にかかる予算か。

(事務局)

屋外体育施設管理事業は総合運動公園や和泉公園等の維持管理費用である。

(委員)

安城市の小中学校の体育館は、床が滑りやすく、ケガにも繋がりがねないので、対応をお願いしたい。また、指導者に対する取組みは良いと思うが、安城市だけではなく愛知県でもインテグリティに関する問題があるので、スポーツ課と連携して対応していきたい。

(委員)

重点施策②「企業とのスポーツ連携の強化」における『安城市のスポーツ選手と遊ぼう！』という事業があるが、この事業をきっかけにホームチームの試合を観に行った人数のデータはあるか。

(事務局)

そこまでは把握ができていない。

(委員)

親の関心がないと、ホームチームの試合を観に行くところまでは繋がらないので、親と子どもがいる時に事業を展開してもよいと思う。また、他自治体でも実施しているが、トップアスリートではなく、指導者が1、2ヵ月に1回来園できるような仕組みがあると効果的と思われる。

(委員)

子どもたちの視点からすると、ホームチームの選手だけではなく、様々なスポーツの指導者が来園された方がスポーツとしては、魅力的と思われる。

(委員)

大人を巻き込むには、知名度がある方を呼ぶ必要があると思われるが、そこまでこだわらなくても良いと思う。また、全体の事業計画としては、ターゲットや目的を分けて実施されてるので、それは良いと思う。

(委員)

市の中心部には、スポーツ施設が充実しているが、高齢者になると移動する手段が限られてしまう。市の南側は、公民館はあるが、スポーツ施設が少ないため、気軽にスポーツができる施設が各地区にあると良い。

(委員)

まちづくりの次は、スポーツ施設をお願いしたい。

(委員)

スポーツに特化したイベントは興味がある人にとっては、魅力的だが、子どもは興味がないと動かないので、子どもが体を無意識に動かすような場所やイベントがあると良いと思う。また、今の子どもへの指導は、頑張りを否定するのではなく、認めないといけない。否定された子どもはスポーツを辞めてしまうかもしれないので、指導者の育成も大切だと思われる。

(委員)

安城市民デンパーク駅伝大会について、高校入試などを考慮し、大会日程について調整くださりありがたい。

(委員)

新しい委員がおられて、視点が変わり良かったと思う。やはり、興味がある人は声をかけなくても事業に参加されるので、普段スポーツをしない人をどうやったら巻き込むことができるかが課題である。

【全委員了承】

(3) その他（全体に対する意見等）

（委員）

東京オリンピック前後で、どれくらい運動機会が増えたのか、といった研究が行われている。大会は盛り上がったが、運動機会は増えなかったという見解も示された。重点施策がトップチームに関するイベントが多く、重点的に実施することにより、成人のスポーツ実施率の向上に繋がるのか、研究の例によると、難しいかもしれない。東日本大震災や新型コロナウイルス感染症等、大きな環境の変化の中で、様々な研究も行われたが、スポーツに参加した人は体力が低下せず、何らかの理由で参加できなかった人は体力が低下しており、それらの格差についても指摘がされている。イベントの実施だけではなく、人と人との繋がりを意識して、自主組織を作るような人と人との繋がる取組みを実施しても良いと思われる。

（委員）

成人でスポーツを続けるためには、場当たりの対処ではなくて、いかに子どもの頃から体を動かすことを好きになるかが、大切である。そのためには、U12、U15といった世代ごとにどのようにアプローチするか、指導者が学ぶことが大切である。このようなことも議論できたらと思う。

以上